

みいな



みんなで いっしょに なかよく

2009. 9. 5
VOL.17

那須塩原市男女共同参画推進条例

6つの基本理念

- ① 男女の人権の尊重
- ② 社会における制度又は慣行についての配慮
- ③ 方針の立案及び決定への共同参画
- ④ 家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤ 男女の生涯にわたる健康の確保
- ⑥ 國際社会の動向を踏まえた取り組み

いざ、出陣！



左から小池加奈子さん、伊藤知子さん、君島治美さん、井町宏美さん、平石有紀さん、坂和薰さん

消防団員になって

家の近くで火事が続いている。見ているだけではなく、自分に何かできないかと思っていたところ、団員募集があつて入りました。救命救急の資格を取り、補助作業をしたり、日常生活の場面でも役立つ機会があります。大会では、力を合わせ、声をかけあっていきたいです。(小池さん)



取材を終えて

エンジンをかけ、ホースを伸ばし、放水開始。一連の操作を、当時は55秒でこなし、目で追うのが大変なほど速く、俊敏さに圧倒されました。

また、使用する放水用ホースを片付ける男性消防団員の姿があり、女性消防団の練習に必ず来ているとのこと。女性消防団の活躍には、男性の協力も欠かせないものだと感じました。



私たちらしい ライフスタイル P2

男女がともに助け合う社会に！平成20年度 年次報告 P3、P4

あなたはどう考える？ P5 誰もがきらりセミナー募集開始 P6

私たちらしいライフスタイル

相馬 利行さん 大恵さん ご夫妻

夫の利行さんは手料理でもてなすカフェを、妻の大恵さんはパンフラワー教室の講師をしながら、お二人で昨年11月にオープンした「カフェ＆工房ピアチェーレ」(沼野田和)を経営しています。

20歳と19歳で職場結婚 長男夫婦、孫と同居、他に娘一人。4年間赴任先のイタリアの島で生活。



◆＊「日本はある程度のお金をかけて買ったり作ったりしますよね。でも、イタリア人は、日本人よりも給料が安いけど、なぜか豊かに見えました。家に招待されて行くと、手作りの家具や野菜をとても嬉しそうに見せてくれるんですよ。お金ではなくお金が無いなら無いなりの生活を楽しんでいるのがとても素敵に見えましたね。」

◆「ある時、ふっと、自分の後ろに付いている会社のブランド名が自分を大きく見せていたことに気がついて、一個人としてこれからは自分の人生を送りたいと思って55歳の誕生日に会社を退職したんだよね」

始めたきっかけは？

◆「パンフラワー教室の生徒さんに日本風の料理の上手な人がいて自分ももっと美味しく作ってみたいと思って作り始めて、作った料理を出し合っているうちにいつの間にか生徒さんのほとんどがランチを楽しみにしてくれるようになっちゃって。おいしいつまみでおいしいお酒が飲みたいから作るってのもありますけどね。」



結婚36年継続の秘訣は？



◆「家族の中で隠し事はしないこと。嘘をつかない、法律は守る、あいさつはちゃんとする。生活できる最低限のお金は確保する。これをちゃんと守つていけばうまくいくんじゃないかな。隠し事をすると、家の中に必ずひびが入ってしまうね。まず、生活の基盤は夫婦が仲良くすること。そして棟を一緒にする人とも仲良くすること。そうすれば他のことも優しくできると思う」



◆「主人は、ずっと仕事人間だったから、私の作っているパンフラワーにも興味がなくて、バラを見てチューリップって言いましたから。でも、お店を始めてからは、私の作った花は、どんどん飾った方がいいぞって、すすめてくれるようになりました。昔からの知り合いにも『ご主人はずい分変わりましたね』って言われています。今はゴルフやお酒など二人で一緒に楽しんでいます。今が幸せですね。」

◆＊「今一番不安なことは、どちらかが倒れたり病気になったりすることかな。そうなったら、一人ではなく、二人とも駄目になってしまってでしょうね。だから病気にだけは絶対ならないように気を付けています。」

役割分担は？

◆「家事・育児など世間一般的に女性がすることは何もかも女房がする必要はないんじゃないかな。役割分担は、その夫婦で決めればいいと思うよ。たとえそれが一般的じゃなくてもね」

◆「結婚式で『苦楽を共にする』と誓ったんだから、苦しいこともだけど、楽しいことはどんどん共にしなくちゃね(笑)女の人は結婚すると夢が現実しづらいけど、私は、やりたいことはずっとやらせてもらっているから幸せだと思いますね」



取材を終えて

定年がゴールではなく相馬さん夫妻のように自分たちらしい人生を送ることを選択した、そんなお二人をみて、ふと来年定年を迎える夫の顔を思い浮かべました。

男女がともに助けあう社会に！！

平成20年度 男女共同参画に関する年次報告書

那須塩原市では、男女が互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指し、施策を推進しています。

19年3月に「那須塩原市男女共同参画行動計画」を策定し、5つの基本目標をもとに施策・事業を行っています。平成20年度の主な事業の実施状況をまとめましたので、報告します。

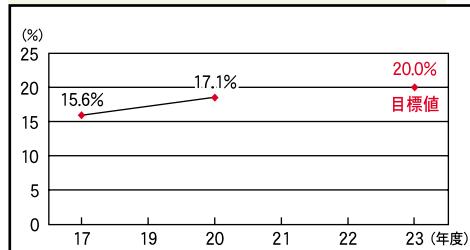
那須塩原市男女共同参画行動計画 (平成19年度から平成23年度までの5年間) ★は、目標達成したものです。

基本目標 I 男女共同参画社会実現のための意識改革の推進

男女が、性別による差別的扱いを受けず、自ら望む生き方を選択できる社会の実現を目指し様々な場面において男女共同参画意識の啓発を図り、性別による固定的役割分担意識の解消に努めます。

評価目標

社会全体の中で男女の地位が平等になっていると感じる人の割合



意識調査の結果はホームページで見ることができます。
20年度は、市民818人から回答があり、140人が平等を感じています。
19年度は、意識調査未実施

主な実施状況 (14項目中3項目を掲載)

- 男女共同参画広報紙「みいな」の発行 4回 ★ 4回
- 男女共同参画に関する講演会の開催 1回 ★ 1回
(男女共同参画フォーラム「明日を素敵に生きる」)
- 男女共同参画に関する講座の実施 1講座 ★ 1講座
(誰もがきらりセミナー「自分らしさ新発見！」)



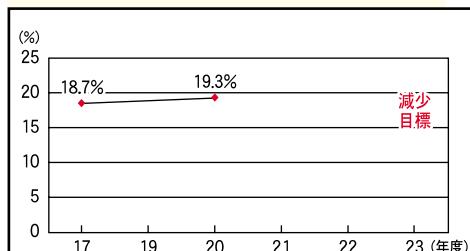
基本目標 I は、全14項目中、12項目について目標を達成しております、達成率は9割となっています。

基本目標 II 男女がお互いの性を尊重する人権意識の確立

男女が、お互いの性を理解し尊重し合える人権意識の確立を目指し、性や生殖に関する正しい知識の普及を図るとともに、男女間のあらゆる暴力の根絶に努めます。

評価目標

夫や恋人からの暴力を見聞きしたことのある人の割合



19年度は、意識調査未実施

主な実施状況 (19項目中3項目を掲載)

- 婦人相談員による相談の実施 284件 ★ 実施
- 性感染症予防パンフレット配布 1回 ★ 1回
中学3年生1,172人
- 人権擁護委員による人権相談の実施 月3回 ★ 月1回



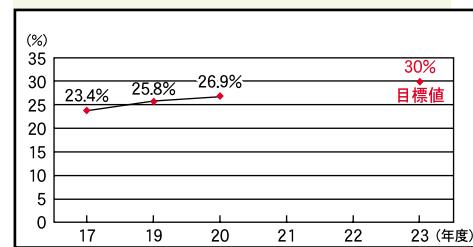
基本目標 II は、全19項目中、16項目について目標を達成しております、達成率は8割となっています。

基本目標 III あらゆる分野への男女共同参画の機会の確保

男女が、性別にかかわりなく個人として能力を十分に発揮できる機会の確保を目指し、女性リーダー等の人材を育成するとともに、政策等の立案や方針決定の場への女性の参画促進に努めます。

評価目標

審議会等における女性委員の割合



主な実施状況 (20項目中3項目を掲載)

- 生涯学習ボランティア名簿の整備及び活用 108人 200人
- 女性認定農業者の推進 33人 ★ 20人
- 女性人材情報の収集及び整備 17人 50人



女性認定農業者

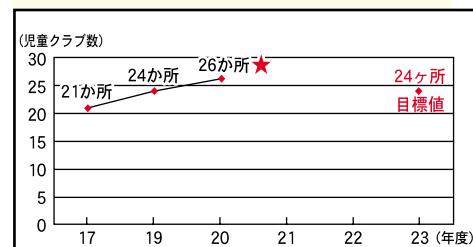
基本目標 III は、全20項目中、10項目について目標を達成しており、達成率が5割と低く、「政策方針決定過程への女性の参画」において未達成が多い状況です。

基本目標 IV 家庭生活とその他の活動との両立の支援

男女が、家庭生活における活動及び職業・地域活動、その他の社会活動との両立を果たすことができる環境づくりを目指し、就業の分野における環境整備、子育て・介護サービスの充実など社会的支援に努めます。

評価目標

放課後児童クラブ数



主な実施状況 (26項目中3項目を掲載)

- 休日保育実施 2か所 3か所
- 病後児保育実施 2か所 ★ 2か所
- 訪問理美容料金助成事業 11回 42回



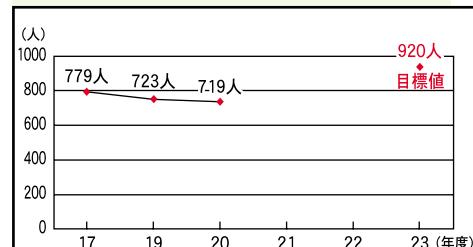
基本目標 IV は、全26項目中、17項目について目標を達成しております、達成率は6割となっています。

基本目標 V 生涯を通じた社会参画のための環境の整備

男女が、生涯を通じて社会参画していくことのできる環境づくりを目指し、健康の保持促進を図るとともに、高齢者、ひとり親家庭、障害者等に対する生きがい対策や自立支援に努めます。

評価目標

シルバー人材センターの登録者数



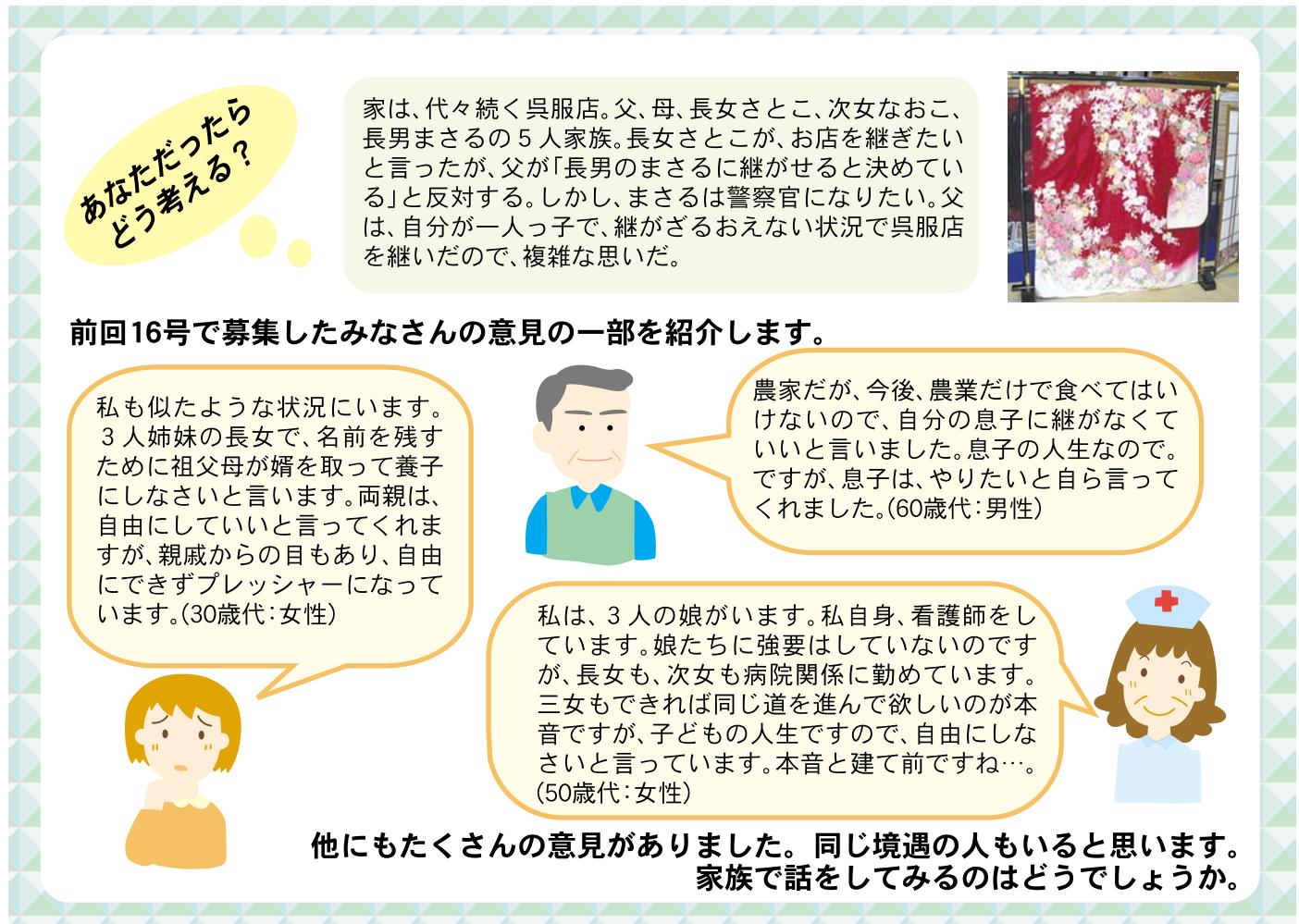
主な実施状況 (15項目中3項目を掲載)

- 元気アップデイサービス事業の整備 及び利用促進 15か所 18か所
- 母子家庭自立支援教育訓練給付金の支給 2人 20人
- 各種健康教育の実施 13,891人 ★ 6,500人



基本目標 V は、全15項目中、8項目について目標を達成しております、達成率が5割で、高齢者に対する項目で未達成が多い状況です。

年次報告書の全容は、各支所に設置しています。また、ホームページからもご覧いただけます。



家は、代々続く呉服店。父、母、長女さとこ、次女なおこ、長男まさるの5人家族。長女さとこが、お店を継ぎたいと言ったが、父が「長男のまさるに継がせると決めている」と反対する。しかし、まさるは警察官になりたい。父は、自分が一人っ子で、継がざるおえない状況で呉服店を継いだので、複雑な思いだ。



前回16号で募集したみなさんの意見の一部を紹介します。

私も似たような状況にいます。3人姉妹の長女で、名前を残すために祖父母が婿を取って養子にしなさいと言います。両親は、自由にしていいと言ってくれますが、親戚からの目もあり、自由にできずプレッシャーになっています。(30歳代:女性)



農家だが、今後、農業だけで食べてはいけないので、自分の息子に継がなくていいと思いました。息子の人生なので。ですが、息子は、やりたいと自ら言ってくれました。(60歳代:男性)



私は、3人の娘がいます。私自身、看護師をしています。娘たちに強要はしていないのですが、長女も、次女も病院関係に勤めています。三女もできれば同じ道を進んで欲しいのが本音ですが、子どもの人生ですので、自由にしなさいと言っています。本音と建て前ですね…。(50歳代:女性)



他にもたくさんの意見がありました。同じ境遇の人もいると思います。
家族で話をしてみるのはどうでしょうか。

ベビー服



教えてコーナー

「男女共同参画社会」と聞いても、専業主婦には関係のないことだと思ってしまいます。働いている人が主に対象なのでしょうか。

【みんな編集委員会より】

いいえ、そんなことはありません。どんな立場の人も対象となります。外で働くことだけでなく、専業主婦の仕事も大切な仕事の1つです。社会に参加していないと思ってしまいがちですが、地域や家庭、自治会なども社会です。あなたは、子どもの育成会、自治会の奉仕作業、町内会の行事などに参加していますか？それらは全て社会参加になります。

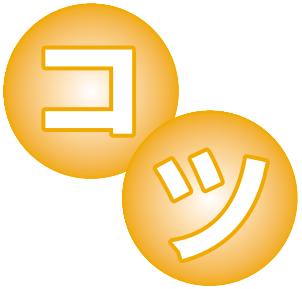
男女共同参画社会は、男女とも個性と能力を生かすことのできる社会を目指しています。男女を比べた時、可能性や選択の幅に差異が生じているのは問題であると考えます。ただ、どのような人生を選ぶかは本人の意志で、育児や家事に専念する専業主婦も人生の選択肢の一つで、尊重されるべきだと考えます。そして、あなただけが家事や育児をするのではなく、男女協力してすることが大切だと思います。



誰もがきらりセミナー

～5日で自分を変えてみる～

自分らしさを大切にする



誰もがいきいきと輝ける社会を目指して、女性も男性もいろいろな分野から学べるチャンスです。

何かを始めたいと思っている人、まず、参加してみませんか？

回	開催日	テーマ	講 師	会 場
①	10/16(金) 19:00～ 20:30	今日からできる自分磨きの方法 「印象マナー」講座	ちとせ (私ブランド塾 SHINBI主宰 イメージコンサルタント)	西那須野 公民館
②	10/23(金) 19:00～ 21:00	あっ！と驚くコミュニケーション術 ～ 自分も相手も大切に ～	谷津 嘉子 (企業組合とちぎ家族研究所・ ウィル 代表理事)	三島 公民館
③	10/28(水) 19:00～ 21:00	お互いを認めあう ～ 自分と他人の違いを認めよう ～	高橋 純一 (特別養護老人ホーム 生きいきの里 理事長)	三島 公民館
④	11/6(金) 14:00～ 16:00	自分らしさを見つける ～ 一歩、踏み出すためのヒント ～	廣瀬 隆人 (宇都宮大学教育学部教授)	三島 公民館
⑤	11/15(日) 9:30～ 16:30	フェスタ in パルティに行こう！ ～ 自分らしさの生かし方 ～ 年に一度のパルティまつり！手作り品の販売 やワークショップがあり、毎年盛況です。	公開講座 西原 理恵子(漫画家) 「毎日かあさん」で 有名なアノ西原さん！	パルティ (バスで 移動します)

定員：40名

受講料：無料

申込締切：9月25日（金）

保育：満1歳～小学3年生まで

保育締切：①10月1日 ②10月8日 ③10月14日 ④10月23日

⑤問い合わせ願います。

申込み、問い合わせ先：那須塩原市 企画部市民協働推進課

男女共同参画係

☎ 0287-62-7019 FAX 0287-62-7220



昨年の様子 満員御礼で大好評でした。



男女共同参画について疑問のある方、「教えてコーナー」に応募してみませんか？また、「自分はこう思う！」というご意見も募集しております。下記まで、ご連絡ください。

富永 伊吹
左近 桂子
文子 剛
濱口 手塚
三江 祐子
編集委員

楽しさである。
それはもう少し先のお
苦楽を共有する時間を
積み重ねて、我が家も
夫婦は最強のパートナー
という言葉が心に響いた。
そう言えるようになるか

馬大恵さんの「私たち
今号の取材の中で相
手としてくれた。夫は、精
神面で私を随分とサポ
ートしてくれた。
夫婦は最強のパートナー」
という言葉が心に響いた。
夫婦は最強のパートナー

この春から進学先で
寮生活をしている長男が、
久々に帰省した。上京
前と変わらぬ坊主頭に
拍子抜けすると同時に、
目標に向かってブレず
に鍛錬し続けている姿
勢を感じ、嬉しかった。
長女は社会人、次男は
高校生となり、子育て
の面ではチョット一段落
かな？

編集後記